

政策評価シート（平成27年度実績評価）

◎ 政策の基本情報

|               |       |     |   |       |             |                      |           |       |             |       |
|---------------|-------|-----|---|-------|-------------|----------------------|-----------|-------|-------------|-------|
| 総合計画<br>中期プラン | 政策No. | 2-1 | 政策名   | 環境の保全 | 政策の<br>目指す姿 | 豊かな自然と生活環境を守り暮らしています | 政策<br>主管課 | 生活環境課 | 政策主管<br>課長名 | 清水 正浩 |
|               | 政策の方針 |     | 地球規模の環境問題が深刻化している中、本市の豊かな自然環境を守り、次世代に引き継いでいく必要があります。そのために、市民が地球温暖化の防止や自然保護について理解と関心を持って行動できるように啓発を進めるとともに、リサイクルやごみの減量化など循環型社会の構築に取り組みます。また、公害の未然防止に向けた対策やまちの美化を推進します。 |       |             |                      |           |       |             |       |

2 成果指標の達成状況

| 成果指標名                     | 成果指標設定の考え方<br>(なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)   | 成果指標の測定企画<br>(どのように実績を把握するのか)  | 単位 | 区分  | H25<br>(基準年度) | H26  | H27  | H28  | H35 |
|---------------------------|--|--|----|-----|---------------|------|------|------|-----|
|                           |  |  |    |     | 目標値           | 実績値  | 達成度  | 見込み  | 達成度 |
| 自然環境と生活環境が守られていると感じる市民の割合 | 自然環境と生活環境が守られている状態かどうかを示す指標  | 出典：市民アンケート<br>あるあなたは、市内の環境の保全に関する次のことが守られていると感じますか？次の中からあてはまるものをいくつか選んでください。<br>①身近な山や川が美しい環境に保たれている。②地域の中で花による美化が進められている。③エネルギーの省エネ・省電が進んでいる。④身の回りごみが少なくなっている。⑤公害が少なくなっている<br>→各項目の平均を算出し、全体の満足度を測る | %  | 目標値 | 36.8          | 38.3 | 40.0 | 50.0 |     |
|                           |  |  |    | 実績値 | 35.5          | 36.5 | 37.0 | -    |     |
| 達成度                       | [達成状況に関する背景・要因]  |  |    |     |               |      |      |      |     |
| B                         | 自然環境と生活環境が守られていると感じる市民の割合は、毎年度わずかながら増加しているものの、目標値には届かなかった。<br>市民アンケートの5つの選択肢のうち「身近な山や川が美しい環境に保たれている」が低下しているが、環境基本計画策定に係るアンケートの意見にあった「松くい虫被害による枯損木が景観を損なわせている」という状況が市民アンケートでの割合が低下した要因のひとつと推察される。 |  |    |     |               |      |      |      |     |

3 政策に対する各施策の達成度

| No. | 施策名           | 成果指標名                           | H25    | H26    |        | 達成度 | H27    |        | H28 |        | 前年実績との比較 | 達成度 |
|-----|---------------|---------------------------------|--------|--------|--------|-----|--------|--------|-----|--------|----------|-----|
|     |               |                                 | 現状値    | 目標値    | 実績値    |     | 目標値    | 実績値    | 目標値 | 見込み    |          |     |
| 1   | 地球温暖化の防止      | 住宅用太陽光パネル設置率(%)                 | 6.0    | 6.4    | 6.9    | a   | 7.0    | 7.2    | a   | 7.6    | →        | B   |
|     |               | 環境にやさしい取り組みを行っている市民の割合(%)       | 48.7   | 51.0   | 45.6   | b   | 53.0   | 52.5   | b   | 55.0   | ↗        |     |
| 2   | 自然環境の保全       | 自然環境を守るための行動を実際に行っている市民の割合(%)   | 56.6   | 63.0   | 59.9   | b   | 65.0   | 62.3   | b   | 67.0   | →        | B   |
| 3   | 公害の防止         | 悪臭モニターの年間感知日数(日)                | 187    | 165    | 197    | c   | 143    | 214    | c   | 122    | ↘        | D   |
| 4   | 循環型社会の構築      | 市民一人当たりの一般廃棄物排出量(家庭系)(kg)       | 171.9  | 166.3  | 175.4  | c   | 164.9  | 170.7  | c   | 163.5  | ↗        | D   |
|     |               | 市内全事業所の一般廃棄物排出量(事業系)(t)         | 13,604 | 11,865 | 13,293 | c   | 11,249 | 12,842 | c   | 10,633 | →        |     |
|     |               | 一般廃棄物のリサイクル率(家庭系)(%)            | 23.3   | 26.2   | 22.8   | c   | 27.3   | 21.9   | c   | 28.4   | ↘        |     |
| 5   | 花のあるきれいなまちづくり | 地域の中で花による美化が進められていると感じる市民の割合(%) | 58.8   | 61.0   | 57.2   | b   | 62.0   | 57.4   | b   | 63.0   | →        | B   |
|     |               | 住んでいる地域の美化活動に参加している市民の割合(%)     | 50.7   | 52.0   | 53.8   | a   | 54.0   | 56.0   | a   | 56.0   | →        |     |

4 政策の総合的な評価

| 評価区分 | 政策の課題と要因   |
|------|--|
| B-③  | 総合的に見ておおむね順調に進んでいるが、東日本震災後の再生可能エネルギー利用や環境への意識の高まりが表れており、本市の豊かな自然やより良い環境を守るため、環境保全活動の継続や環境学習の計画的な実施が不可欠である。しかしながら、施策3については、一部の地域で悪臭による影響を受けていることから、事業場の定期的な立入調査や臭気測定などを行うとともに引き続き悪臭発生防止対策を図るよう指導に努める必要がある。また、施策4では世帯数の増加や社会経済の好転などによりごみの減量化やリサイクルが進んでいないことから、市民や事業者に対するごみの分別徹底やごみの資源化に向けた意識啓発に取り組むことが重要である。 |
| 概ね順調 |  |

|                         |   |   |  |  |
|-------------------------|---|---|--|--|
| 成果指標達成度                 | A |   |  |  |
|                         | B | ☆ |  |  |
|                         | C |   |  |  |
|                         | D |   |  |  |
| ④ ③ ② ①<br>政策に対する施策の達成度 |   |   |  |  |

5 政策を構成する施策一覧

| 施策名 | 地球温暖化の防止  | 施策の成果指標の達成状況 | H26 | B | H27 | B |
|-----|---|--------------|-----|---|-----|---|
| 1   | <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再生可能エネルギー活用方針の策定には至らなかったが、温室効果ガスの排出削減を図るため、地域特性を生かした再生可能エネルギーの導入は必要であるが、経済的な負担等の問題もあり、啓発以外の推進方法について検討が必要である。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国における太陽光発電事業導入補助事業は、所期の目的が達成され平成25年度に終了したことから、市の補助事業においても新規募集は26年度から終了したところであるが、引き続き、地球温暖化防止対策の観点から普及啓発に努める。(26年度の事業は、25年度中に受け付けた分に対する補助)。</li> <li>再生可能エネルギーの導入を推進するために、公共施設の新改築を行う場合や既存施設の設備更新の際は、再生可能エネルギーの活用を検討するとともに、導入効果等を広く情報発信していく。</li> <li>地球温暖化防止への取り組みを推進するため、市民や事業者の効率的なエネルギー使用の促進について、普及啓発と情報発信に努める。</li> </ul>   |              |     |   |     |   |
| 2   | <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>早池峰山地域においては、関係機関や自然保護管理員による自然保護活動により自然環境の保全が図られているが、引き続き登山者のマナーの向上について意識啓発を図る必要がある。</li> <li>特定外来生物の生息域の拡大により、在来種の衰退などの生態系への影響や市民生活への影響が懸念される。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>早池峰山地域における自然環境を守るため、関係機関や自然保護管理員による自然保護活動を継続することにより、登山者に対する携帯トイレの普及などのマナーの向上を図るとともに、高山植物の保護についての理解と自然環境の保全に努める。</li> <li>希少生物の保護について、引き続き支援を実施するほか、特定外来生物については、ホームページや広報誌により周知に努め、生態系の保全を図る。</li> </ul>   |              |     |   |     |   |
| 3   | <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内にある化製場の悪臭公害については、改善勧告を行い、同社作成の改善計画に基づき対策が実施されているが、十分とは言えない状況であり、対策の効果を検証するため、臭気測定、悪臭パトロールの実施と悪臭モニターによる悪臭発生状況を把握する必要がある。</li> <li>公害防止関係法令に基づく悪臭、水質、大気汚染、騒音等の測定の実施及び公害防止パトロールを行うとともに改善指導を実施しているが、公害防止協定基準が達成されていない事業所が一部にある。</li> <li>食品等の放射性物質濃度の測定については、大震災後5年を経ても依頼があり、放射能に対する関心が高く、安全確認が必要である。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>化製場の定期的な立入調査や会社との話し合いにより、悪臭発生防止対策の状況を把握し、適切な対策について引き続き指導を行う。</li> <li>公害防止協定基準が遵守されるよう、各種測定の実施と改善指導等を継続し、公害の発生防止に努める。</li> <li>持ち込み食品等の放射性物質濃度測定及び空間放射線量の定期測定を行い、市民の安心感の醸成に努める。</li> </ul> |              |     |   |     |   |
| 4   | <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年10月から岩手中部クリーンセンターが稼働しているが、構成市町からのごみの搬入量に応じて処理経費を負担することになるため、ごみの再利用、再資源化に努め、一層のごみの排出削減に努める必要がある。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岩手中部クリーンセンターに搬入するごみの分別等について引き続き説明会を開催するとともに、併せて3R運動等の取り組みについても説明しごみの減量化に努める。</li> <li>平成27年度に第2次花巻市環境基本計画及び第2次花巻市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画を策定したことから、ごみの減量に向けた計画的な事業の取り組みを推進する。</li> </ul>   |              |     |   |     |   |
| 5   | <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>花いっぱい運動の活動母体である花と緑の会の会員の高齢化と減少が進んでおり、若い世代の加入が必要となっている。</li> <li>平成26年度から市民総参加早朝一斉清掃回数を各地域とも年3回実施することで統一を図ったが、継続して参加してもらうことが必要。</li> </ul> <p><b>【今後の方向性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>花壇づくりや花いっぱい運動の実践者の育成を図るため、花づくり講習会の開催などを通して実践者の育成を今後も進める。</li> <li>市民総参加早朝一斉清掃について、公衆衛生組合連合会と連携して周知を図るとともに、参加を呼び掛けていく。</li> </ul>  |              |     |   |     |   |